研究課題名

「低出生体重児の発達の様相と育児ストレスの関連」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H27中倫小第１７号）

育児支援に関連した聞き取り調査実施についてのお知らせ

　小児科発達検査外来では、琉球大学教育学部とともに、低体重で出生したお子様とそのご家族に対してのより充実した育児支援に向けた研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２７年７月２４日

【研究課題名】

　低出生体重児の発達の様相と育児ストレスの関連

【研究期間】

　平成２７年８月から３年間を予定

【調査対象】

　当院小児科発達外来に受診される、低体重で出生した幼児とその養育者

【研究目的・意義】

　　近年、日本では低出生体重児の総出生数に占める割合が増加しており、発達予後や養育者の支援に目が向けられています。低出生体重児の幼児期の発達を「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」「社会性」の四側面からとらえ、子供の発達の状況と母親の育児感情との関連を検討することで、より充実した育児支援へ反映させることを目的としています。

【研究の方法】

小児科発達検査外来を受診した際に幼児に対し、発達検査（新版K式発達検査2001）を実施し発達の様相を評価します。母親に対し、質問紙（「KIDS乳幼児発達スケール」「日本版PSI(Pareting Stress Index)」への回答をお願いし、幼児の社会性についての評価と、母親の育児ストレスを、数量的に評価します。

【個人情報の取扱い】

　　得られたデータは個人を識別できる情報を削除し、全て機械的・統計的に集団で処理しますので、個人のデータが外部に漏れることはありません。また、琉球大学における研究として、執筆・発表される可能性がありますが、個人が特定されることはありません。

【研究機関】

　沖縄県立中部病院　小児科・新生児内科

　琉球大学教育学部生涯教育課程　心理臨床科学コース

【本研究に関する問い合わせ先】

　研究責任者　沖縄県立中部病院　新生児内科・木里頼子

　住所　うるま市宮里２８１番地

電話番号098-973-4111（内線2135）